

都構想が実現すれば、
日本、世界の中で、「大阪」だけが、
「都心計画」の力を失い、衰退します。

①「大都市の自治体」(横浜、名古屋、京都、東京、神戸等)は「都市住民」が大半
世界でも、同様。 ⇒ だから、「都市計画」が進んだ！

-100万都市 リヨン、ミラノ、フランクフルト、アムステルダム、サンフランシスコ

-200～300万都市 シカゴ、パリ、ベルリン、ローマ、トロント、釜山、台北

-それ以上都市 ロンドン、ソウル、ニューヨーク、ロサンゼルス..... 等は皆都市住民自治体

②しかし、都構想後の「大阪府」の都心人口は3割(堺市等を含んでも半分)

⇒ 知事・府議会の(特に都心の)「都市計画」の軽視は決定的

(それは文字通り、極めて歪な、「大都市自治体」となる)

③その結果、大阪はコア(都心)を無くし、早晚凋落。

関西、西日本の地盤沈下の加速は必至。

「都構想」で大阪の都市づくりが停滞し、 大阪が凋落する理由

- ① **中心都市住民** (大阪市民) が「都市計画」の **財源と権限を失い**、
 周辺住民 (大阪市外=7割) が「都市計画」に大きく**参与** (先ほど説明した理由)。
- ② 「都市計画」の **ノウハウ・技術力・人材が失われる**。
- ③ 「都市計画／開発」の **手続きが圧倒的に煩雑化**。
- ④ 「過激な組織改革」で、当面「都市計画」が停滞
 (その間、東京名古屋間リニア、東京オリンピックなどが進む)
 ⇒ 10年、20年後の大阪は、さらに凋落し、一地方都市に凋落。
 景気が悪くなり、仕事も無くなり、市民の収入は減る！